

株式会社ビオストック（群馬県高崎市）

R5 補正
R6 当初

17

背景・課題

食品廃棄物のバイオマス資源としての活用方法として、メタン発酵処理による再生可能エネルギー製造や堆肥化は有効な方法であるが、県内に受入可能な施設がないことから、メタン発酵による食品リサイクルを希望する排出事業者の多くは県外への運搬コストがネックとなり、焼却処理を選択せざるを得ない状況。

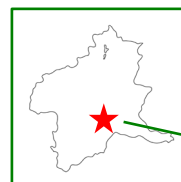
バイオマスのポテンシャルが活かされないだけでなく化石燃料の燃焼による温室効果ガスを生じさせている。

成果目標

- 地域内のバイオマス利用量の増加(4.9t/日)
- 焼却由来CO₂排出量削減（最大：197,976 kg-CO₂/年）
- 再エネ発電量の創出（年間売電量：77,798 kWh/年）
- 資源の生産（年間堆肥出荷量：4t/年）

取組の内容

NTT東日本グループでは、従前より高崎市の委託事業で給食残渣の堆肥化による食品リサイクルを実施してきた。本取組では、当該堆肥化事業場の敷地内に地産地消型バイオガスプラント（メタン発酵）を新たに整備した。



高崎市

構 成 員

株式会社ビオストック
(NTT東日本グループ)

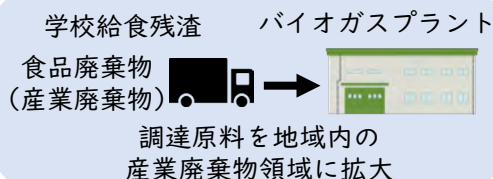
品 目



超小型バイオガスプラント

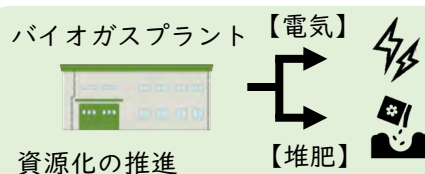
調達

従来の給食残渣に加え、これまで地域内で焼却処理されていた食品廃棄物などを新たに調達することで、未利用のバイオマスの有効活用を促進し、CO₂排出量を削減。



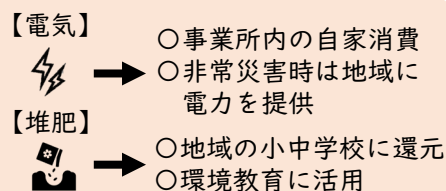
生産

バイオマス原料のメタン発酵により再生可能エネルギーを創出するとともに、副産物の発酵残渣を活用し、既存設備で堆肥生産を継続。



消費

再生可能エネルギーは、自ら及び地域電力として利用。堆肥は従前からの堆肥化事業で築き上げた小中学校への提供スキームや販路などのネットワークを活用して地域に還元し、地産地消、資源循環システムの構築を図る。



普及に向けた取組

本施設の視察や校外学習を広く受け入れることにより、原料1t/日の規模から設置が可能な「超小型バイオガスプラント」を広く了知いただき、地域の資源循環システムや環境負荷低減ツールとして幅広い分野での展開を期待している。

問い合わせ先

株式会社ビオストック
TEL：0155-66-6030

URL：http://www.biostock.co.jp/
Mail：info@biostock.co.jp